

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課(室)		
総合計画体系			根拠法令計画など	文化財保護法		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	昭和	51年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)	文化財					
施策	3	文化財の保護と活用				
基本事業	2	文化財の保護と活用				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 国指定重要文化財「福永家住宅」						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市有化された福永家住宅を保存活用して、多くの来訪者に鳴門の塩づくりの歴史を理解してもらおうとともに、地域情報の発信地として地元住民が利活用できる空間づくりを目指す。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		福永家住宅の保存整備	30	70	70	80	80	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	①所有者側からの寄附により、全ての建物および宅地の3/4が市有化された。 ②地域住民やボランティア組織などの協力を得て、小規模な文化財修理と公開事業を実施した。 ③指定範囲の浸水被害への対策を検討するため、事業費確保の方策や設置方法などについて、市および県の関係課と協議をおこなった。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
		指標名	23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	福永家住宅の公開(テレビ取材含)	0	4	8	12	12	件
	2	福永家住宅の市有化率	30	70	95	100	100	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	福永家住宅の保存整備		30	70	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	1,184	1,868	2,398	887	—	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		
		県	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	1,184	1,868	2,398	887		
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		3,361	3,361	3,361	3,361	3,361	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		4,545	5,229	5,759	4,248	—	千円	

【事務事業名：福永家住宅・塩田保存活用事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	国交省の社会資本整備事業で住宅南側の水路樋門に排水設備を設置することについて、土木課・下水道課および県の関係課と協議を行ったが、諸条件により事業採択されるのは困難であることが判明した。これを受け、塩田の部分復元を踏まえた上で水環境の調査を実施した後、文化庁の国庫補助事業で、塩田から小鳴門側への排水施設の設計・工事を行えるよう検討・協議を進める。また、保存活用検討委員会を開催し、保存活用計画の策定を進める。このほか、地域住民やボランティアを募り小規模な文化財修理と公開事業を実施する。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	鳴門市の成立と発展の礎である塩生産の歴史を、市民および来訪者に周知することにより、まちの魅力づくりにも繋がっていく事業であり、総合計画を進めるために必要な事業である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 文化財の保護と活用の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	鳴門の塩の歴史を、実物を介して紹介し、市民に認識してもらうことで、鳴門市を愛する心を醸成していく効果がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	早期に予算を投入し、環境改善をおこなうことで、より効率の良い保存活用が実施できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10	<input type="checkbox"/>		⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				